



【飯伊緩和ケア連携協議会で症例の説明をする山田緩和ケア内科医長 6頁】

目次

●平成24年度事業会計決算の概要…………… 2	●お知らせ …………… 7
●脳血管内治療を開始しました …………… 3	ドック室が移転しました
●ねっとわーく	売店が新しくなりました
矢澤内科・循環器科医院 …………… 4	●検査の窓 …………… 8
「かかりつけ医」について …………… 5	●職場紹介 …………… 8
●防災訓練を行いました …………… 4～5	放射線技術科 その④ (MRI検査室)
●看護部の紹介／話題の広場 …………… 6	●新任医師の紹介 …………… 8

**飯田市立病院 基本理念**

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

**飯田市立病院 基本方針**

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

**飯田市立病院 理念行動指針**

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

# 平成24年度

# 飯田市立病院事業会計決算の概況について

## ○ 決算の概況

平成24年度は、平成24年4月の診療報酬改定がごくわずかではありますがプラス改定となり、又、救急や症状の重い患者さんを積極的に受け入れたことによる診療単価の増により医業収益が増加したことから、純利益が約3億7百万円となり、平成21年度以降4年連続の黒字決算となりました。

平成24年度の延べ患者数は、入院が2.6%減、外来はほぼ前年度並みとなりました。入院の延べ患者数は減少しましたが、新たに入院した実患者数は増加しています。平均在院日数は11.6日で前年度に比べて短縮しました。

事業収益は、入院・外来収益ともに増加し入院外来収益合計で約103億8千万円となり、前年度より約1億3千万円増となりました。

今後も、健全経営に努めると共に、患者さんのニーズをふまえた質の高い医療、安全で安心な医療の提供をさらに充実させるよう努めてまいります。

### 【収益的収支の状況】 (税抜き、単位：千円)

区 分	決算額	
入 収	入院収益	7,672,367
	外来収益	2,712,226
	その他医業収益	673,979
	一般会計負担金・補助金	649,468
	国・県補助金	64,590
	その他医業外収益	50,468
	病院事業収益計	11,823,098
出 支	給与費	6,289,106
	材料費	2,484,489
	経費	1,368,358
	減価償却費	768,317
	資産減耗費	34,883
	研究研修費	47,510
	医業外費用	523,399
	病院事業支出計	11,516,062
当期純損益	307,036	

### 【患者数等の状況】

区 分	単位	H23年度	H24年度	増減	増減率(%)
入院延患者数	人	122,445	119,209	△ 3,236	△ 2.6
入院1日平均患者数	人	335	327	△ 8	△ 2.4
入院年間実患者数	人	10,165	10,281	116	1.1
病床利用率	%	89.1	87.2	△ 1.9	—
平均在院日数	日	12.0	11.6	△ 0.4	—
外来延患者数	人	237,777	237,796	19	0.0
外来1日平均患者数	人	975	971	△ 4	△ 0.4
救急車受入数	人	3,121	3,146	25	0.8
へり受入数	人	48	66	18	37.5
分娩件数	件	1,196	1,177	△ 19	△ 1.6

※外来人数に高松診療所及びドックを含む。

※病床利用率は決算統計上の数値。(退院患者数を含む)

## ○ 施設整備の状況

平成23年度に着工した第3次整備事業は、平成24年度末に南棟が完成し、新しい救命救急センターが稼動しました。血管撮影室を2室に増設し、最新式の低被曝血管撮影装置を導入しました。また、内視鏡室もX線テレビ室を増設し、最新機器の導入により、より質の高い検査や治療の実施を図ってまいります。

第3次整備事業は継続費事業として、引き続き周産期センター・がん化学療法室などの北棟や既存棟の改修工事を進めています。



汎用型血管造影撮影装置

### 【資本的収支の状況】 (税抜き、単位：千円)

区 分	決算額	
入 収	企業債	1,551,200
	一般会計負担金	470,095
	国・県補助金	357,717
	出資金	707,800
	固定資産売却代金	467
	寄附金	14,525
収入計	3,101,804	
出 支	改良費	152,403
	設備費	800,549
	第3次整備事業費	1,710,221
	企業債償還金	1,410,293
	開発費	24,150
支出計	4,097,616	



新救命救急センター内

## ❖ 脳血管内治療を開始しました

当院で、今年の4月より脳神経外科にて始めました、脳血管内治療についてご紹介します。



飯田市立病院 脳神経外科  
医師 市川 陽三

### 脳血管内治療とは

脳血管内治療とは脳の病気に対して、皮膚を切ったり頭蓋骨を開いたりすることなく、血管の中からアプローチする新しい手術法です。もともと脳血管撮影という、脳の血管をカテーテルと造影剤を使って撮影する検査から発展した手術法です。全身の血管は大動脈を介してすべて繋がっているため、足の付け根や肘の内側の血管など、体の表面近くを通る太い血管からカテーテルを挿入し、大動脈を通じて脳の血管まで進める事が出来ます。

手術の際は検査用のカテーテルの中に、さらに細かいカテーテルを入れ、病気のある部位（首や頭の中の血管）まで進めていき、様々な道具や薬品を用いて病気を治療します。1990年代以降カテーテルなどの道具の改良に伴い急速に広まっており、現在日本全体では年間1万件以上の脳血管内治療が行われています。

治療対象は脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻等の出血性病変や、頭や首の血管の狭窄症（血管の細くなった部分で血液の流れが悪くなったり、小さな血液の塊が出来て末梢の血管に詰まったりして脳梗塞の原因となります）が主な物です。このほかにも脳腫瘍の術前に、手術中の出血を減らすため栄養血管を閉塞させたり、血管奇形や外傷に伴う鼻出血の治療などに応用されることもあります。また脊髄の血管病変に対しても血管内手術は可能です。手術に使われるカテーテル、コイルなどの道具は近年めざましい進化を遂げており、対象疾患が拡大していく傾向にあります。

手術に関しては、通常最初に足の付け根か、肘の内側の動脈にシースと言われる短いチューブを入れ、その中を通してガイドカテーテルと呼ばれる直径3mm程度のチューブを首の動脈まで誘導します。さらにガイドカテーテルの中にマイクロカテーテルと言われる1mm強の非常に細いチューブを通して脳の病変部に到達させ、金属コイル等を挿入して病変部を閉塞させます。血管を拡張させる場合は、マイクロカテーテルの代わりに、拡張用の風船の付いたカテーテルや、ステントと言われる金属製の筒を病変に通して血管を広げます。

この治療法の利点は、一般的な開頭術による外科手術に比べ、患者さまに加わる侵襲が極端に少ないこと、開頭手術での治療が困難な脳の中心部分でも、周辺の脳への影響を与えずに到達が可能であること、総じて入院期間が短いことなどです。また全身麻酔で行われることも多いですが、局所麻酔でも可能であり、麻酔をかける事が危険な高齢者や、心臓や肺の悪い人などには非常に有用な方法です。



脳動脈瘤に金属コイルを挿入して病変部を閉塞するイメージ図  
画像提供：日本ストライカー様



## 矢澤内科・循環器科医院

(飯田市育良町)



### 地域の皆さんの健康を守りたい

矢澤内科・循環器科医院 院長 矢澤 卓

当院は平成11年に伊賀良、育良町に開院しました。私は昭和大学医学部を卒業後、同大学第三内科に入局、内科全般を学びました。その後、主に循環器内科を専門として研修してきました。臨床研究にも没頭し、まったく家にも帰らず終日大学病院にいる生活でした。現在のほぼ全ての抗不整脈剤の開発・治験に携わってきました。とても楽しい時代でした。

開業後は「かかりつけ医」「学校医」として地域医療を行っております。今までに学んだ知識・技術、診療経験を十分に活かし、この地域医療に貢献できる事を目指して診療に取り組んでおります。循環器医としては、高血圧治療をはじめ、各種心臓疾患の治療・管理のほか、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、また呼吸器疾患等

の診療、脳血管障害後の管理、在宅医療を行っております。

日々診療で心がけている事は、患者さんの気持ちになり、話をよく伺い、丁寧に診察したうえで、患者さんに納得していただける医療・看護を提供することです。精密検査や入院治療が必要な場合には他の診療科、病院紹介を適切にしてゆくように心がけております。さらにいろいろな相談にも親身にお話ができ、患者さんと和やかな会話も多くできる診療環境をめざし、スタッフ一同日々努力しております。

今後とも医療連携を密にし、開業医として細やかな小回りの利く医療を提供できるよう、微力ではありますが貢献してゆきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



矢澤先生(前列中央)とスタッフの皆様

**所在地** 〒395-0152 飯田市育良町2-17-1

☎0265-21-6111

**診療科目** 内科・循環器内科・呼吸器内科・リハビリテーション科

**診療時間** 月～金 8:30～12:00 / 15:00～18:00

**休診日** 水曜日午後 土曜日午後 日曜日 祝日

**往診** 可

**駐車場** あり



## 防災訓練を行いました



飯伊地区包括医療協議会との合同訓練

市立病院では9月1日、地震総合訓練を行いました。この訓練は、迅速で的確な初期対応ができるようにすると共に、この地域の災害拠点病院として必要な災害救急医療体制を整える目的で行っています。

当院では、より現実的な訓練とするために、職員は地震を感知してから登院することとし、職員が参集するまでは仮の当直職員が臨時本部を立上げるところから訓練を行っています。

まず、院内の被害状況の把握から始め、被災患者の対

# 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

5回シリーズ ー第3回ー

## スムーズな受診は「かかりつけ医」と上手に付き合うことから始まります



### ～かかりつけ医での正しい診察の受け方をご存知ですか？～

お医者さんは患者さんの病気を治すために努力をしますが、診察を受ける患者さんも守らなければならない受診の際のマナーがあります。正しい診察の受け方を理解し、スムーズな診察と、かかりつけ医の先生とのより良い信頼関係を築きましょう。

#### 疑問解決「診察前」

##### ■ 保険証は必ず提示

保険証は診察前に必ず窓口に表示しましょう。また、人によっては、「高齢者受給者証」や「母子健康手帳」なども一緒に提示する必要があります。



##### ■ 受診時間を守りましょう

受診時間が決まっているときは、時間より少し早めに着くようにしましょう。もしどうしても遅れるようなときや、キャンセルをしなければならなくなったときは、必ず事前に連絡しましょう。



##### ■ 何科にかかるか迷うとき

いくつかの症状があるなど、何科にかかってよいかわからないときは、まずは内科の診療所にかかることをお勧めします。



##### ■ 紹介状などを持っているとき

かかりつけ医からの紹介状など提出するものがある場合は、窓口で話して、いつ提出したらいいかを聞きましょう。医療機関によって異なる場合があります。



##### ■ 素顔で受診

顔色やくちびる、つめの色などもお医者さんの重要な判断材料になります。化粧やマニキュアなどをして行くのはやめましょう。



#### 疑問解決「診察中」

##### ■ 症状は隠さず正確に

どこが、いつから、どのように不調なのか、できるだけ正確に伝えるようにしましょう。自分で勝手にこれはたいしたことないと判断して伝えないと、お医者さんが適切な診断を出来なくなります。他の医療機関で治療を受けている場合や、薬の処方を受けている場合も必ず伝えましょう。



##### ■ 病歴・体質も伝えましょう

過去にかかった大病や、現在治療中の病気があったり、アレルギー体質があったりするときは必ず伝えましょう。診断や治療方針の参考になります。



##### ■ お医者さんの指示は守りましょう

自分勝手な判断で、処方された薬をやめたり加減したり、検査などを催促するのはやめましょう。お医者さんから「こうしてください」「こういうことはしないでください」と言われたときは、必ず守ってください。



##### ■ 重病人や子どもには付き添いを

症状の現れ方や経過を付き添いの方がきちんと話すようにします。子どもはうまく症状を伝えられない可能性があるうえ、お医者さんが家庭での注意事項などを指示しにくい場合もあります。



##### ■ 不安や疑問点があったらきちんと聞いておく

検査や治療などについて、不安や疑問があればきちんと聞いておきましょう。質問することは悪いことではありません。きちんと聞いたうえで、納得して診察を受けることが大切です。



東京法規出版「よくわかるお医者さんのかかり方」より抜粋

応では、トリアージ・処置・重症患者の域外搬送といった一連の流れの中で、それぞれの役割や動きを検証しました。

全体としては、情報伝達体制などを充実したこともあり、これまで以上に円滑な訓練が実施できました。しかし、指示系統に不明確な点があるなど、課題も報告されています。

今後もハード、ソフト両面から改善を

図り、いざという時に適切な対応ができるよう備えていきたいと考えています。



訓練の様子

## 飯田市立病院 看護部の紹介

# 当院の看護部の取り組みなどを紹介します

### 地域住民の健康を守る使命を持つ飯田市立病院 看護部が目指すもの



看護部長  
何原真弓

当院は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、新型救命救急センター、地域周産期母子医療センターなど各種指定を受けています。それぞれの指定に関わる医療の質を求められる時、同様に看護の質も問われます。看護職は専門職集団としての役割を担い、様々な職種が連携する中で、チームの構成メンバーとしてその専門性を発揮しています。

また、地域との連携も看護領域に求められます。地域の看護職との連携を深めながら、共にレベルアップを目指しています。

結の精神を常に持ち続けながら、地域住民が安心して生活できる医療環境の整備に今後も取り組みます。

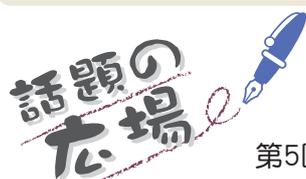
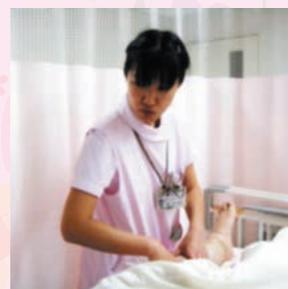
### 認定看護師の紹介

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことです。患者さんの療養生活の向上と疾病を抱えながらも在宅でその人らしい生活が送れるために、専門的知識をもつ認定看護師を中心とし、フットケア、ストーマ管理、褥瘡予防、リンパ浮腫ケア、緩和ケア等を行っています。当院の認定看護師を今号より紹介していきます。

#### ★ 緩和ケア認定看護師 ★

がん患者さんの治療の意思決定支援を行い、患者・家族の苦痛症状の緩和を多職種チームと共に考えます。また、リンパ浮腫に関する指導やケア、がん相談の対応も行っています。

緩和ケアの質の向上と地域連携を図るため、飯田医師会や地域の看護・介護職など様々な職種の医療者と連携を図っています。また、緩和ケアを市民の方に知ってもらうために、広報活動や講演会を行っています。



## 第5回飯伊緩和ケア連携協議会

(10/21) / 飯田医師会館

第5回飯伊緩和ケア連携協議会がこの10月21日、飯田医師会館にて開催されました。

地域の病院、診療所の先生方の参加も徐々に増え、今回は9名の参加をいただきました。市立病院からは、山田緩和ケア内科医長を筆頭に、菅沼副看護部長、清水緩和ケア看護認定看護師など8名が参加しました。市立病院と診療所の連携について、実際に発生した1つの事例を用いながら、意見交換と検証を行いました。そうした中、地域連携にはやはり、医師同士の顔の見える関係に加え、患者と医師の信頼関係をいかに築くかがポイントであるという意見が出され、改めて連携協議会の意義を強く認識することとなりました。今後はさらに協議検討を重ね、この地域に適した緩和ケア地域連携パスの運用実現を目指していきます。



医師からの質問に答える山田緩和ケア内科医長

## お知らせ

# ドック室が移転しました

このたび、第三次整備により人間ドック室が1階へ移転しました。(位置図参照)

これにより、健診を受けられる皆さんの検査部門等への移動距離は短くなり、案内等もわかりやすくなりました。また、健診者の控え室には、男女別更衣室・ロッカーなどを備え、利便性の向上を図ることができました。

その他、人間ドック健診後に提供する食事は、「信州食育発信 3つの星レストラン」に登録しているヘルシー弁当(肉・魚を選択)、日替わりスペシャルランチ(デザート付き)などから選ぶことができ、朝食を摂らずに来られる皆さんに配慮し、健診後は速やかに院内レストランでお召し上がりいただくことができるよう、提供方法などを変更させていただきました。

今後も、来院される皆様の目線で、改善等に取り組んで参りますので、お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せいただければ幸いです。



## お知らせ

# 売店が新しくなりました



広くなった入口と内部



売店スタッフの皆さん

新しくなった市立病院売店を、いつも御利用頂きありがとうございます。

年中無休(年末年始を除く)にて、土日祝日も朝8時30分から夜8時まで営業しています。新店舗に移転後、店内通路が広くなり車椅子のお客様にもゆっくりお買い物をして頂けるようになりました。入院に必要な生活用品の他、お弁当・おにぎり・サンドイッチ・飲み物・菓子等の食料品や新聞・雑誌・切手・日用品など幅広く取り扱っています。テレビカード・テレフォンカードも販売しています。お客様の希望にお応えして、お惣菜も少量入りパックで御用意しています。また、医療用品、紙おむつ等も広くなった店内に商品アイテムを大幅に増やし販売しています。ファックスとコピーサービスも新たに始めました。なお、24時間営業の自販機コーナーは、売店の先にありますのでこちらもご利用ください。

御年配のお客様から、「病院の売店へ来ると、暖かい肌着や昔懐かしいお菓子が買えて嬉しい。」と、おっしゃって頂く事があり私たちスタッフ6名も大変嬉しく感じています。

これからも、幅広い年齢層の方にお買い物を楽しんで頂ける売店を目指します。皆様の御利用をお待ちしております。

# 検査の窓

その29

## 糖尿病の検査説明を行なっています

病院で採血をされた後、ご自分の検査結果を“読んだ”ことはありますか？

検査項目にはひとつひとつ意味があり、結果を読むことで今の体の様子を知ることができます。さらに、結果を理解し目標をもって治療を受けていただくことで、より効果も期待できます。

検査科では、糖尿病療養指導士の資格を持つ臨床検査技師がわかりやすい絵やグラフを用いて、検査結果の読み方やそのポイントなどをお話しさせていただいています。(写真)

検査説明をご希望される方は是非ご相談ください。



### シリーズ ● 職場紹介 ● その38

### 【放射線技術科の紹介 その④ (MRI検査室)】

MRI検査とは、CTのようにエックス線を使わずに磁力と電波を使い体内の状態を断面像として描写する検査です。MRIとCTでは同じ断面を撮影するのに何が違うのかと疑問に思われる方もいらっしゃると思います。CTでは各臓器のコントラスト(濃度)に差がつきにくく内部構造が明瞭ではありませんが、MRIはCTよりコントラスト分解能が良いため臓器の内部構造や周囲の臓器との境界が明瞭に描出されます。特に脳・脊

髄・関節・婦人科・前立腺領域の検査は非常に有用な情報を得ることができます。またMRIは造影剤を使用しなくても血管を描出でき、さらに水だけを描出することも可能なため胆管・胆嚢・膵管を描出することも可能です。

しかし欠点も存在します。検査時間が20～60分程度かかりCTと比べ一日に行える検査件数はかなり少なくなります。そして肺などの検査に

不向きな部位もあり全ての検査をMRIで行うことはできないため、CT等その他の検査を併用することにより診断の向上につなげています。



## あ と が き

2020年夏のオリンピック・パラリンピック開催地が『東京』に決まりました。決定の瞬間、それまで関心のなかった私も、久々の心躍るニュースに声を挙げて喜びました。

7年後、我が子と同世代のアスリート達が活躍する姿を、今から楽しみにしています。

編集委員 熊谷智子

## 新任医師の紹介

平成25年7月～10月



歯科口腔外科

秋田 大輔

(あきた だいすけ)  
平成21年3月卒業  
平成25年8月1日着任  
前勤務病院  
信州大学付属病院



救急科

塚田 恵

(つかだ めぐみ)  
平成21年3月卒業  
平成25年10月1日着任  
前勤務病院  
信州大学付属病院